

雪 町部地区雪まつり のプレゼントにはじける笑顔



1月31日、菊川市と長年交流のある長野県小谷村^{おたり}から町部地区に雪のプレゼントが届き、雪まつりが開催されました。

日ごろから雪と触れる機会の少ない子どもたちに雪遊びを楽しんでもらおうと、毎年この時期に小谷村から贈られた雪を使い、市内各地で行われる恒例行事。今年は町部地区コミュニティ協議会が中心となり開催され、小谷村観光連盟や小谷村役場の職員も協力し、10トン大型トラック2台分の雪を使ったすべり台や雪遊びができる広場が設置されました。

子どもたちは、普段見ることのない雪に目を輝かせながら、雪山の斜面をソリで滑ったり雪だるまを作ったりして楽しみました。

会場では、雪中キャベツなどの小谷村特産品販売も行われ、多くの地域住民で賑わいました。

- 1 はじめての雪にドキドキ
- 2～4 雪遊びを楽しむ子どもたち
- 5 大盛況の小谷村特産品販売
- 6 中村義明村長自ら小谷村をPR！



梅 黒田家住宅梅まつり&竹あかり展 と灯りが織りなす春

2月1日から3月1日まで、国指定重要文化財「黒田家住宅」で梅まつりが開催されました。普段入ることのできない庭園が無料開放され、来場者は寒紅梅^{かんこうばい}や白加賀^{しろかが}など、およそ11種類およそ140本の梅の花を楽しみました。また、2月20日から22日までの3日間には、およそ500本の竹灯籠で建物を幻想的にライトアップする「竹あかり展」も開催。梅の香りとやわらかな光に包まれ、昼と夜で異なる表情を見せた会場は、多くの人の笑顔であふれていました。



1 春の訪れを感じて 2 灯りに包まれる来場者と黒田家住宅

鬼 虚空蔵山節分祭 とともに福を呼ぶ

2月1日、菊川市高橋地内にある虚空蔵山^{ふくぞうざん}福蔵院で節分祭が開催されました。明治時代の始めころから続くとされる行事で、平成9年に旧小笠町の無形民俗文化財に指定され、現在も市指定無形民俗文化財となっています。山頂のお堂で祈とうを受けた関係者らは、地域住民が扮した赤鬼と青鬼の先導で石段をゆっくり下山。その後境内にて、厄除けや無病息災を願い、「福は内」という大きな掛け声とともに、詰めかけた大勢の人たちに向けて豆やお菓子をまきました。



1 福を求めて豆を拾う参加者 2 鬼に扮した地域住民